

はじめに

難民に対する日本語教育を行ってきた RHQ 支援センター（以下「センター」）では、2010 年度より、タイ国境の難民キャンプから来日した第三国定住難民を受け入れています。この度コースを受け持つ講師たちが、日々の授業のために作成してきた教材を土台に、地域でも使えるより幅広い内容を加味したふたつの教材を作成しました。生活のための日本語学習教材—ユニット学習編『はじめまして にほん』、同じく絵辞典編『にほんご えじてん』がそれです。センター終了後に地域で学習を継続する難民とその支援者の皆さん、さらには地域で生活する多くの外国人の皆さんにもお役に立てていただきたいとの思いから生まれた教材です。

『はじめまして にほん』は、日本社会へ自信をもって第一歩を踏み出していくために必要な 17 のユニットで構成されています。実践的な日本語力獲得をめざした「交通」「買い物」「職場」、コミュニケーション力に焦点をあてた「身近な人と話す」「地域のコミュニケーション」、発表を通し自己表現力をつけていく「街へでかけよう」「自国紹介」など、様々な角度から日本語力アップにつなげます。

それぞれのユニットの最初のページは、そこで学習する内容がイラストで一目でわかるようになっています。イラストや写真中心ですから、文字を読めない学習者も安心して参加することができます。導入時にこのページを利用して、学習者とコミュニケーションをとってください。このユニットで、これからどんなことを学ぶのか、どんなことができるようになるのかを学習者にわかってもらうねらいも兼ねています。たとえ学習者から出てくることばが、単語レベルであっても、クラスでいろいろな発話が生まれることによって、学習者の興味、必要度、体験など見えてくるものがあり、クラスの参加者同士お互いをさらによく知るきっかけともなることでしょう。最初のページで学習する内容を理解したところで、ワークシートに入ってください。ワークシートは、そのユニットで学ぶ項目順に①②のように番号がつけてあります。日本で生活をはじめる方々が無理なく入っていけるように、どのワークシートもごく初歩の内容で構成されています。項目によってはテーマの広がりに応じて、①－1、①－2 のようにページが分かれているところもあります。学習者の状況を見ながら、その時々で判断でご使用下さい。またページの一番下に※印で、そのページを使っていたく際の工夫やアドバイスが載せてあります。ぜひ参考にしてください。

『はじめまして にほん』はバインダー使用を想定していますので、学習者に必要なものを選んで使っていただくことができます。学習者の状況に応じて、練習シートや必要な資料など足していただくことで、それぞれの学習者にとっての自分だけの教材となることでしょう。この教材には『にほんご えじてん』からのイラストを数多く含んでいます。ふたつの教材の併用で、さらに語彙が増え、生活の幅が広がっていくことと思います。これらの教材が、日本社会で自立して生活していくための手助けとなれば望外の喜びです。